

令和8年白川町長選挙 立候補者アンケート

佐伯 正貴 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、白川町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

☒ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

白川町で活動されている NPO 法人は、異なる分野で様々な活動をされている。

白川町の課題である人口減少と高齢化に対応するためには、行政の力だけでは到底無理であり、農業、環境保護、イベント開催によるにぎわいの創出など、その力をお借りすることは必要である。

既に長年にわたり活動いただいている皆さんには、引き続きその活動に寄せる期待は大きいと感じている。

2) NPOやボランティア団体への活動支援施策について(300字以内)

NPO等の団体が白川町にて、様々な公益的な活動に取り組んでいます。「地域づくり人材育成支援補助金」など、地域づくりに取り組む団体への助成事業も行われています。今後もNPO等の活動をより推進していくために、補助等資金的な支援も含めて活動支援施策は必要だと思いますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの支援施策等がありましたら、具体的にお答えください。

☒ はい

☐ 必要

・

☐ いいえ

・

☐ その他

NPO 団体へは以前から支援を行っており、今後も引き続き推進していきたい。

財政的な面だけでなく、職員も活動の輪に参画しており、伴に前へ進んでいると考えている。

今後の課題としては、人員不足、後継者不足が挙げられるので、継続的に活動していただける様な支援も必要ではないかと考える。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「白川町第6次総合計画 地域コミュニティ活動の推進」では、まちづくりに関わる人材の把握に努め、連携、さらなる育成を進めること、序論においても「多様な人々との協働による地方創生の実現」について書かれています。今後も、NPO等を含めたまちづくりに関わる団体との協働関係を築き、協働関係を発展させていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

☒ はい

・

☐ いいえ

・

☐ その他

私が進めていきたいのは、「協働」から「総動」へと一歩踏み出すことである。

行政と NPO などとの協働だけでは、今後の人口減少社会に対応することは困難が予想され、町民、事業者、学校、金融機関、JA など、あらゆるセクターの参加によるまちづくりが必要である。

特に農地の荒廃を防ぐには、農業者の高齢化に対応するため、町内土木事業者などの参画による新しい組織づくりに向けて進めているところである。

また、特産品の白川茶についても、茶農家、茶商以外の医療、デザイナー、有機農業者なども交えた協議会を立ち上げたところである。

ご協力ありがとうございました。